

【案】

令和 2 年 月 日

当別町長 宮 司 正 毅 様

当別町総合計画審議会
会長 黒 澤 隆 夫

新しい当別町総合計画(素案)について (答申)

令和元年 10 月 9 日付け当企総第 166 号で諮問ありました新しい当別町総合計画 (素案) について、当審議会で慎重に審議を重ねた結果、別添「〔仮) 当別町第 6 次総合計画 (案)〕」をもって、かつ次の意見を付して答申します。

記

1 「〔仮) 当別町第 6 次総合計画 (案)〕」の推進にあたっては、次の事項を十分に尊重すること。

- (1)・・・
 - (2)・・・
 - (3)・・・
 - (4)・・・
- } 審議会としてのご意見を 4 点ほど記載

【意見 (例)】

(1) 人口減少が急速に進み、少子高齢化と共に歯止めがかからず、避けることのできない局面となっているが、現状及び課題を明確にしたうえで、より効果的な方策を検討し本計画全体を着実に推進されるよう、努められたい。

(2) 地域の課題やライフスタイルが複雑かつ多様化し、また、多発する自然災害や ICT の進展など、社会態様の変化が極めて速いことから、分野の狭間に生じる問題もさらに増加すると考えられる。それらに対応するため、既存の枠にとらわれることなく横断的な取り組みによりまちづくりを展開するよう、努められたい。

(3) 地域のコミュニティを維持し、まちを活性化させるためには、各分野における町民や団体及び企業等活動の継続と連携が必須である。生きがいを持ち、あらゆる人が幸せに暮らせる社会の実現に向け、地域共生のまちづくり、子育て支援、健全な青少年の育成、安心安全な社会の形成、各産業における人材確保や生産性向上のための支援や制度の創設など、官民協働による柔軟かつ果敢な施策の実施に努められたい。

(4) 長期的な展望のもと、不断の見直しを行いながら的確な施策展開を図るとともに、健全な行財政の運営に努められたい。
など

2 グループインタビューやパブリックコメント等の意見については、内容を十分精査し、各施策への反映に努めること。

以上